

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	高齢者 DLBCL 患者における再発後治療の検討
	研究目的	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) は R-CHOP 療法により治癒が期待できるが、約 3 分の 1 の患者さんは治療無効や再発を経験する。若年者であれば移植治療を含めた強力治療により長期奏功や治癒を期待できるが、移植治療の適応とならない高齢者に対する治療戦略は確立していない。本研究は、再発難治高齢 DLBCL 患者の実臨床における治療経過や予後を明らかにすることを目的としている。
	研究対象者	2009 年 1 月から 2019 年 1 月に当院で DLBCL と診断され、標準的な R-CHOP 療法を施行された診断時 66 歳以上の患者さん。
	研究期間	西暦 2021 年 2 月 16 日 ~ 西暦 2022 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	血液・腫瘍内科 医長 高橋 寛行
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液・腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当なし